

令和2年度 東三河地域産業労働会議における主な発言要旨

日時：2020年9月4日（金）

午後2時から午後4時まで

場所：愛知県東三河総合庁舎3階 301会議室

（産業労働計画及び新型コロナウイルス対策等）

- ・ 全体的によくまとまっている。新型コロナの影響は続くので、「当面」という書き方ではなく、しっかり書いていただきたい。
- ・ 新型コロナを契機に、医療と産業のつながりが強いことを感じた。医療体制についても盛り込んでいただくと、新型コロナ時代の計画にふさわしいという印象を持った。
- ・ この5年間は非常に重要だと思う。自動車製造産業頼みの愛知県でよいのか、という疑念も少し感じている。
- ・ 新型コロナを受けて、新規事業を考えたいという事業者も増えた。コンサルなどの支援が求められている。他業種との連携の場もあるとよいと思う。
- ・ 目指すべき姿に対して、6つの柱がどこに結びつくのかわかりにくい。フロー図のようなものがほしい。
- ・ 飲食関係は新型コロナの緊急対策で持ちこたえている状況である。ステッカー等の掲示で安全をPRする、感染対策を補助する等、様々な取組が必要である。
- ・ 新型コロナの感染拡大防止を盛り込んだのはよい。「新しい生活様式」に対応して働き方もかなり変わってくると思う。
- ・ 柱が1つずつ機能すれば、目指すべき姿が達成できるのではと思う。
- ・ 雇用の確保と事業活動の継続の両立が難しいのがコロナ禍だと感じている。
- ・ 計画に異論はない。
- ・ 新型コロナの中では、外国人、高齢者、障害者の就職が難しい。就職するだけでなく、長期間安定的に働ける環境づくりが必要である。
- ・ 雇用調整助成金の申請の中で、書類の不備などをよく見た。書類の作成についての中小企業の支援も必要だと感じている。
- ・ 雇用調整助成金の手続きをする事業所は増え続けている。
- ・ 計画は、名古屋地域に特化したものという印象である。東三河の強みを生かしてどう行動すべきか、地域独自の強みを生かしたキーワードが必要になってくるのではないかと。例えば、産学官の連携、農業の高度化などである。
- ・ 新型コロナの中、新たな仕事をしていきたい、新たなチャンスにつなげたいという気持ちがあり、創業や起業の支援が必要ではと感じている。
- ・ 成果指標について、この時期で数字を出すのが難しいので、見直すということを含めて一文入れておいてはどうかと思う。
- ・ 東三河の推進プランに入っているような地域の魅力発信の取組をぜひ入れていただきたい。
- ・ 2年前に追補版というところで見直されているが、同じように、適時適切に修正していかれてはどうか。現行プランの評価も、今のタイミングは難しいとしても、しっかり評価して新しい計画に反映し、進めていっていただければと思う。
- ・ 世界に輝く国際イノベーション「都市」づくりとあるが、都市と聞くと、東三河からは遠く感じてしまう。愛知県全体を「都市」ととらえることもできるが、それに対する説明は持っておかれたほうがよいと感じた。

(産業全般)

- ・商工会議所の関心は、事業継続、事業承継。廃業を抑制する取組、新たな産業の転換等、事業継続をあらゆる形で応援するという方向性を盛り込んでいただきたい。
- ・国の骨太の方針で、DXの推進が目指されているが、愛知県においてDXの推進を図る必要があるのではないか。5Gなども書いていってはどうかと思う。
- ・スタートアップエコシステムのところ、大学発ベンチャーや企業内ベンチャーにも力を入れていただけたらと思う。豊橋市内にも、豊橋技術科学大学や企業内からスタートアップが生まれている。そういったところにも目を向けていただきたい。
- ・さらなる官民連携のところで、オープンデータの活用をしてはどうかと思う。オープンデータの活用による新サービスの創出に取り組んでいただけたらと思う。
- ・県内の中小企業と大企業が技術提携するようなマッチングができないかなと考えている。

(観光)

- ・柱の3に「観光業界」という言葉が表にでてきてもよいのではないか。
- ・国際観光都市を目指すなら、キャッシュレスに目を向けることも必要である。

(労働)

- ・労働力の確保は、どれだけ企業の魅力を発信するかにかかっている。そこも盛り込めればと思う。
- ・外国人の方は、家族帯同で来られる方が多いが、豊橋にはインターナショナルスクールがない。人材を受け入れるためには、環境整備が必要ではないか。U、Iターンも同様である。
- ・外国人の活躍支援について、最近住宅ローンを希望される外国人の方が多い。一部の金融機関では、外国人ということで融資を受ける条件が厳しくなっているようだ。こうした環境面での支援も大事なのではと思う。
- ・求職者が増えてきた。特に外国人の求職者が目立つ。ミニ就職面談会を実施していこうと考えている。
- ・高等技術専門校では、IoTのコースやロボットシステムのコースを新設しようという話もある。これらの取組も計画に入れていただければと思う。
- ・「働きがい」は定着率の向上にもつながる重要なキーワードである。障害者の就労支援は引き続き重要だと考える。

(その他)

- ・豊川にとっては、正月にどう参拝客を迎え入れるかが目の前の課題である。と同時に、20年後の投資を見据え、人財力への投資も必要だと感じている。
- ・窓口相談や各種手続きについて、オンライン化が求められている。
- ・南北に長い地域であり、雇用の場となる企業の誘致が一番の課題である。インフラの整備をお願いしたい。
- ・ワーケーションを盛り込んではどうかと思う。
- ・環境やエネルギーの部分も今後盛り込まれるのだと思う。